

### 平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	信越自然郷アクティビティセンターを拠点とした新たな滞在型観光の創生事業
事業主体 (連絡先)	一般社団法人 信州いいやま観光局 (信越自然郷アクティビティセンター) 0269-62-7001
事業区分	特色ある観光地づくり、地域の協働の推進に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	4,158,419 円 (うち支援金: 3,280,000 円)

#### 事業内容

世界水準の滞在型観光地づくりの一環として、信越自然郷エリアでの山岳高原や河川、自然環境を活用したアウトドアやアクティビティを楽しむ為の観光コンテンツを新たに創出するとともに、地域情報発信を行う環境を整え、北陸新幹線飯山駅開業を契機に増加する利用者や観光客の利便性の向上と観光誘致を、地域との協働で行い、地域への愛着とまちの活性化を図った。



【自転車散歩体験会 まちの魅力を自転車で再発見した】

- ①情報発信ツールの整備事業
- ②自転車を生かした地域づくり
- ③山岳高原エリアの案内人や団体のスキルアップ事業
- ④信越自然郷エリアでのモビリティツアーへの取り組み

#### 【目標・ねらい】

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①アウトドア観光の魅力を発信する
- ②地域協働での自転車のまちなか周遊コース設定
- ③冬山アクティビティの安全に楽しめる環境づくり
- ④新たな観光コンテンツ創出

- ①WEB サイト「shinetsu-activity.jp」の構築、アクティビティ紹介パンフレット、プロモーション映像製作、を通じて信越自然郷エリアならではの魅力を発信した。
- ②自転車サイクリングコース 4 ルートを新たに設定できたことで、まちなかの周遊へつながった。
- ③冬季アクティビティを提供する地域として、各スキー場や団体同士の意見交換の機会づくりと安全かつ魅力的な観光地づくりにつながる取り組みとなった。
- ④自転車とカヌーを複合したツアーコースを新幹線という新しい交通を活用し設定できた。

#### ※自己評価【 A 】

【理由】  
予定通りに事業実施ができ、確実な成果を得て、目標に向けた第一歩として事業活動ができた。

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・当地域ならではの観光コンテンツを、本事業で構築したツールを活用し継続して発信する。
- ・自転車を使ったスポーツツーリズムの推進を、イベントやツアーを通じて行う。
- ・信越自然郷エリアの山岳高原や河川の自然を生かした観光地づくり活動を継続して行う。
- ・地域の方々や事業者との連携を深めるとともに協同してまちの活性化へ取り組む。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。  
「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた  
「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

(別記様式第12号) (第3の8関係)